

カネコ サトシ

金子 哲

経済情報学部・准教授  
修士／東京大学

## 主な研究業績

■「加古川下流域における新義律派の展開と地域社会—文観房殊音のころを中心に」『村井章介先生退職記念 中世政治社会論叢』（東京大学日本史学研究室紀要別冊）、2013年

■「中世の鶴林寺と寺領域」『鶴林寺叢書3 鶴林寺とその全盛時代』、法蔵館、2009年

■「山の民・川の民の新義律派からの離脱をめぐる村落神話—播磨国印南郡益気郷を事例として—」『東北亜文化研究』第10号、2007年

■「本福寺史料群における価値構造—民衆から見た天皇制秩序に関する試論—」『兵庫大学附属研究所報』第6号、2002年

■「村の誕生と在地官途」『中世人の生活世界』、山川出版社、1996年

■「神と人との間にて—宮座における二つの原理—」『中世の村と流通』、吉川弘文館、1992年

## 研究テーマ

## 日本中世荘園村落都市史研究

## 概要

主に日本中世における荘園・村落・地方都市を研究している。所謂「アナーカル派歴史学」「社会史」の思考を中心に据え、文献史学、歴史地理学、民俗学、社会学、政治学、経済学などの方法論を使用している。一つの対象を極力精緻かつ多面的に研究したいと考えている。民衆史、宗教史、文化財学、芸能論、社会経済史的視座などから対象にアプローチしている。

東アジア的グローバル経済圏の中で、12～14世紀に日本の社会経済は大変動を起こすが、地域の変化もこの変動の中で考察している。

近年は東播磨におけるフィールドワークを積極的に行い、南都系西大寺流新義律派が主導する水利整備および荒野開発・都市整備・新村設立運動を研究している。

## 応用分野

地域史研究。郷土史研究。地域文化財研究。祭礼研究。葬送研究。民俗調査。

## 共同研究へのニーズ

- 【1】地域の歴史的価値・文化財・民俗を活用した「村興し」「街興し」。
- 【2】地域史・郷土史の研究、書籍・小冊子作成。
- 【3】郷土史料の読解・整理。
- 【4】地方自治体、地域住民と連動しての、中世石造物など文化財の悉皆調査ならびにデータベース化。
- 【5】字限図の作成及び、小名などの下位地名調査およびデータベース化。